

最新情報を学んで備える、支える！  
今回のテーマは「居場所」

9月11日（月）14時開講！  
皆様のご参加をお待ちしています！

# カフェマスター研修会（第2期）

第1期は165名の方が受講！  
カフェマスター登録者が  
100名を超えました！



橋元隆先生



宇野・坂田健康運動指導士



木村喜富先生



廣中管理栄養士



カ久園科衛生士



松本医務監

開催場所 アシスト 21 5階  
認知症支援・介護予防センター「カフェ・オレンジ」  
開催時間 14時～16時 ※カフェ休憩あり

- 1、 9月11日（月）地域のボランティアア力をどう見る？どうする？  
～徳力団地での高齢者支援活動の事例から～
- 2、 9月13日（水）フレイル（虚弱）予防のための自己管理  
※実技指導あり
- 3、 9月17日（日）診療現場から見た「認知症」とのつきあい方
- 4、 9月21日（木）居場所を科学する！  
～「だから必要」を説く～
- 5、 9月29日（金）北九州市の「認知症支援のしくみ」を学びましょう！
- 6、 10月1日（日）地域で居場所をつくりませんか？

お問い合わせ・お申込みは・・・  
認知症・草の根ネットワーク事務局  
090 2968 9463（中村）へ



## 閑話休題

「分け合う」ということが、実はとても豊かなことだと気づいたのは割と最近だ。日頃は、果物を求めるときも洗えばすぐ食べられるものを選んで手に取るような生活。

先日頂き物の桃を珍しく家族揃って頂くことになり、切り分けた。果物はひとつひとつ甘味が違ったりする。「うちのほうが美味しい」などとワアワア言いながら食すのは楽しいものだ。

地域の居場所で、気心の知れた相手と一緒に食事を作って、「いつも持ち寄りが多いので、とても当初の予算では頂けないような豪華な食事になって・・・。」とは、永年続いている居場所での異口同音の報告。

分け合って、一緒に食して・・・。そこには「それぞれの人の歴史」とも言える「料理の知恵や技」が生きていて、「どうしてこの味になったか？」の物語も興味深い。「分け合う」幸せが、溢れている。

「分け合う」と目には見えない、美味しいスパイスが加わるのかもしれない。(ま)